



平成 27 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 リバーエレクトック株式会社  
代表者名 代表取締役社長 若尾 富士男  
(コード：6666)  
問合せ先 取締役総務本部長 高保 譲治  
(TEL. 0551-22-1211)

**連結業績予想値と実績値との差異、個別業績の前期実績値との差異  
及び配当予想の修正並びに営業外収益（為替差益）の計上に関するお知らせ**

平成26年11月10日に公表した連結業績予想値と本日公表の実績値及び個別業績値と前期実績値について差異が生じたので、お知らせするとともに、平成27年3月期の配当予想の修正並びに営業外収益として為替差益を計上しましたので、お知らせいたします。

1. 平成 27 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,729	百万円 △350	百万円 △388	百万円 △375	円 銭 △50.91
今回発表実績（B）	4,773	△777	△674	△661	△89.77
増減額（B－A）	43	△427	△286	△286	
増減率（％）	0.9	－	－	－	
（ご参考）前期実績 （平成26年3月期）	5,734	△320	△177	△236	△32.11

2. 平成 27 年 3 月期通期個別業績値と前期実績値との差異（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績（A）	百万円 5,199	百万円 △213	百万円 △354	円 銭 △48.09
当期実績（B）	4,377	△598	△1,031	△139.92
増減額（B－A）	△821	△384	△676	
増減率（％）	△15.8	－	－	

### 3. 差異の理由

#### (1) 連結業績

売上高は、用途別においてはスマートフォン向けの受注が想定を下回りましたが、無線モジュール、車載関連、PC及び周辺機器向けなどが計画を上回りました。製品別においては付加価値の高い新製品が想定を下回りましたが、汎用品が堅調であった結果、微増収となりました。

損益につきましては、新製品の立ち上げによるプロダクトミックスの改善、生産効率の向上による財務体質の改善に努めたものの、想定通りの成果を上げられなかったことから営業、経常、当期純損益ともに計画を下回りました。

#### (2) 個別業績

個別の業績予想につきましても連結とほぼ同様であります。営業外費用に關係会社事業損失引当金繰入額429百万円、特別損失に關係会社株式評価損448百万円をそれぞれ計上しております。

### 4. 配当予想修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (平成26年11月10日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 未定	円 銭 未定
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成26年3月期)	—	1.00	—	1.00	2.00

### 5. 配当予想修正の理由

当社は、長期安定的な企業価値向上によって、株主への安定的な配当を継続的に行うことを経営の最重要課題とし、これに加え、連結業績及び配当性向等を総合的に勘案した利益還元を行うことを基本方針としております。当期の期末配当金につきましては、通期の業績、今後の事業展開等を総合的に勘案した結果、誠に遺憾ではございますが、無配とさせていただきます。

### 6. 営業外収益（為替差益）の内容（連結）

当第4四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成27年3月31日)において、115百万円の為替差益を計上しております。

これは、為替相場が円安に推移したことにより、当社グループが保有する外貨建資産から発生したものであります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

なお、詳細につきましては、本日公表の「平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

以 上